

人と自然が輝く水源の郷



7月開催されるオリンピックの装飾

- 定例会（令和3年度一般会計補正予算他）… P 2
- 第3回臨時会 …… P 3
- 一般質問 …… P 4～9
- 議会活動報告 …… P10～11
- あの一般質問は今 …… P12
- 活躍する団体紹介（道志村消防団） …… P13
- がんばる人紹介
（久保キャンプ場 山崎 優佳子さん） …… P14

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

6月 定例会

コロナ感染症対応、低所得者の子育て世帯に対する生活支援特別給付金事業可決

6月定例会は6月8日から11日まで開催され、報告（1件）、承認（1件）、条例改正（2件）、一般会計補正予算（第2回）、諮問（1件）を原案通り可決承認しました。また、今回の一般質問は、初日に6名が一問一答方式で行い、活発な質疑応答が行われました。

おもな審議事項

報告

- ・令和2年度道志村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告を受けました。

承認第2号

- ・専決処分の承認について（道志村税条例の一部を改正する条例）

条例の改正2件を可決

- ・道志村国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ・道志村介護保険条例の一部を改正する条例

令和3年度道志村一般会計補正予算（第2回）を可決

おもな財源 （補正分）	・国庫支出金	△ 3,228 万円（過年度分を含む）
	・県支出金	199 万円
	・繰入金	4,008 万円
おもな使いみち （補正分）	・民生費（コロナ感染症対策）	195 万円
	・衛生費（コロナウイルスワクチン接種事業）	295 万円
	・農林水産業費（国道の拡幅工事他）	393 万円
	・土木総務費（残土処理場整備他）	60 万円

諮問

- ・人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件

第3回 臨時会

新型コロナウイルスワクチン 接種事業費を可決

第3回臨時会が4月23日に開催され、専決処分の承認（1件）、令和3年度道志村一般会計補正予算、特別会計補正予算（各1件）を可決承認しました。

おもな審議事項

承認（専決処分の報告を受ける）1件

- ・令和2年度道志村一般会計補正予算（第8回）

令和3年度道志村一般会計補正予算（第1回）を可決

おもな財源 （補正分）	・国庫支出金	6,068万円
	・繰入金	△2,520万円
	・諸収入	△491万円
おもな使いみち （補正分）	・総務費（オリンピック・パラリンピック推進費）	754万円
	・民生費（福祉センター・保育所費）	2,046万円
	・衛生費（新型コロナウイルスワクチン接種事業費）	257万円

令和3年度道志村国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1回）を可決

新型コロナウイルスワクチン接種予定

接種場所 診療所

65歳以上高齢者人数 648名（6/1現在）

5/11～6/9時点 ●1回目接種済数 561名 86.6%

●2回目接種済数 346名 53.4%

【接種完了予定】7月下旬

16歳～64歳以下人数 836名（6/1現在）

●クーポン券郵送交付 6月4日より

●予約開始日 6月7日より

●接種開始日 6月22日より毎週火・水

【接種完了予定】9月下旬

接種対象者 16歳以上の全住民数（令和3年度末年齢到達者） 1,484名（5/1現在）

Q 小中一体型校舎活用の成果は

A 9年間を見通し豊かな人間性育成



佐藤喜章 議員

佐藤

県内及び全国でも珍しい一体型校舎での村独自の教育方法及びその成果は。県との連携対応は

教育長

小中学校一体型校舎の活用による連携教育の成果として、9年間を見通し、豊かな人間性の育成、教職員の授業力向上や学校組織の活性化につながっています。

県との連携対応は山梨県教育委員会の小中連携研究推進校の指定を受け、連携教育の望ましい在り方について研究しました。本年2月の定例県議会において、長崎知事が「児童数が少ないために、25人学級の影響が及ばない市町村には、より先行的な取組となるような特色ある施策を支援検

討する」との答弁があり、県教委との連携対応を深め「ふるさとを愛し、地域や世界で活躍できるグローバル人材の育成」を目指しています。



道志小中学校一体型校舎

Q 国道413号及び県道都留道志線の雨量規制撤廃及び雨量の規制緩和は

産業振興課長

県からの聞き取りによ

りますと国道の工事は6月中には完成する予定とのことです。

県道都留道志線においては、未対策箇所が1箇所残っていますが、来年度中に実施する予定です。

Q 都留道志線防災トンネル事業の進捗状況及び完成時期は

産業振興課長

県では、山梨県と東京圏を結ぶ路線の強靱化対策として、県道都留道志線を国道20号の代替ルートと位置付け、雨量規制の抜本的な解消や走行安全性の向上が図られるようバイパスルートの検討を進めていました。

検討結果は地元住民の皆様や関係自治体からの理解を得た後に事業化に向け取り組んでいくと聞

いています。

Q 野原月夜野トンネル予定地の近くを通りますと重機が作業しています。いよいよ着工かと期待が高まります。進捗状況及び完成時期は

産業振興課長

これまでに必要な用地取得を完了し、本体工事に備え残土処理場などの工事を行っており、今後はトンネルや橋梁などの主要な構造物着手に向けて地域の方々の理解を得ながら、取付区間の改良工事などを進め事業の進捗を図っていくと聞いております。

完成時期に關しましては、工事の規模が大きく、正確な時期につきましてはお答えできないとのことです。(再質問あり)



杉本孝正 議員

Q 避難道を兼ねた農道の新設計画は A 国道以外の迂回路は必要と考 えている

杉本

上善橋から掛水沢間の農道新設工事を
行い、観光農園く長又
長沢橋まで通行可能
な迂回路整備計画は

村長

国道が通行できない時
の迂回路整備の重要性に
つきましては村でも十分
認識しております。国道
を利用しなくても各地区
間を移動できる道路は必
要であると考えていま
す。



農道の未整備区間

Q 今年度より総務省

は、地域に移住して
特産品を生かした商
品開発や空き家の利
活用など幅広い分野
で活躍が期待される
「地域プロジェクトマ
ネージャー制度」が
導入されるがこの制
度を利用する考えは

村長

道志村総合戦略等で位
置付けられている重要
な事業や新たな事業を
実施する場合に、この
「地域プロジェクトマ
ネージャー制度」につ
いては、必要に応じて
検討します。

Q 新型コロナウイルス

感染症で、小学校、
中学校の給食費無償
化を行っているが、
コロナウイルス感
染症終息後も継続する
考えは

村長

新型コロナウイルス感
染症により、様々な
職業に多大な影響が
出ており、子育て家
庭の精神的・経済
的な負担を軽減す
るため、新型コロナ
ウイルス感染症対応
地方創生臨時交付
金を財源として、

給食費の無償化を
実施しています。

令和4年度以降は、
財源を確保する中
で、子育て支援
対策の一環として
継続する方向で
考えています。

(再質問あり)

地域プロジェクトマネージャーの創設 ※令和3年度より

○ 地方公共団体が重要プロジェクトを実施する際には、外部専門人材、地域、行政、民間などが連携して取り組むことが不可欠だが、そうした関係者間を橋渡ししつつプロジェクトをマネジメントできる「ブリッジ人材」が不足。そこで、市町村がそろった人材を「地域プロジェクトマネージャー」として任用する制度を創設。

イメージ	制度概要	
<p>★ブリッジ人材が不在だと...</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション不足から混乱が生じ、関係者がお互いに不信感 <p>★地域プロマネ任用により...</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な関係者間を調整、橋渡し <p>⇒プロジェクトの実行がスムーズに実現</p>	<p>★人物像</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の実情の理解、専門的な知識、仕事経験を通じた人脈、受入団体及び地域との信頼関係 etc ⇒地域おこし協力隊OB・OG、地域と関係の深い専門家等 <p>★地方財政措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域プロジェクトマネージャーの雇用に必要な経費を対象に、650万円/人を上限に特別交付税措置 1市町村あたり1人、1人あたり3年間を上限 <p>★地域要件</p> <ul style="list-style-type: none"> 3大都市圏内又は3大都市圏外都市地域から、条件不利地域へ住民票を異動（地域おこし協力隊と同様） ただし、現地の協力隊から任用される場合には移住は求めない 	<p>・せっかく外部専門人材を招へいできても孤立</p> <p>⇒プロジェクトを着実に成果へつなげる！</p>

※「地域プロジェクトマネージャー制度」とは
地方自治体が会計年度任用職員として任用し、自治体の重要プロジェクトの推進にリーダー的立場でかわり、地域の活性化を担う制度です。（特別交付税措置として一人あたり上限 650 万円交付される、期間は3年間）

Q 道の駅騒音対策は

A 騒音の原因が道の駅なら対策は必要



佐藤徹 議員



バイクで混雑している道の駅駐車場

佐藤

平成25年6月の議会で道の駅騒音問題について議論されていますが、その後の騒音解消対策は

村長

平成25年7月31日に村長に就任しました。この議会に出てないので答えられません。

Q 道の駅周辺の騒音問題で近隣住民との対話は

村長

私が社長に就任してからは特に苦情を耳にしておりませんので、話したことはございません。

Q 道の駅周辺の騒音調査を再度実施し、防音対策をする考えは

村長

道の駅が騒音の原因であるという調査結果が出れば、何らかの対策は必要であると考えます。

Q 雨量規制が撤廃すれば防災トンネルは必要ない。それよりも人口対策など早急にやらなければならぬ事業がたくさん

村長

あるが村長の考えはあるが村長の考えは 県道の新たな防災トンネルは、台風時など豪雨の対策のみならず、富士山噴火時の避難路及びシェルターとしての役割、また危険な峠越えがなくなることにより降雨・降雪時の安全の確保、

あるが村長の考えは

交通強化プロジェクトの県の取り組み 資料1

- ◆国道20号を補完する路線として、国道413号の強化対策（道志バイパスの整備および雨量規制解除）を進めていくとともに、都留道志線（新道坂トンネル）と併せて代替ルートを確認していく。
- ◆令和元年台風19号の豪雨時に被災した国道413号について、山梨県と相模原市において「国道413号の強化に関する協定」を締結し、災害時の連携強化を図る。

〈強化対策3〉 県都留道志線 (仮称)新道坂トンネルの計画

〈強化対策1〉 国道413号 道志バイパスの整備

〈強化対策2〉 国道413号 雨量規制解除に向けた対策工事

災害防除工事

施工状況

相模原市(青柳地区) 災害防除工事完了

国道413号 現道

国道413号 工事中



時間も短縮できる雨量規制以外の役割が非常に多いと考えています。

(再質問あり)

防災トンネル概略ルート



佐藤進 議員

Q 人口減少対策での住宅建設は A 本年度大渡地区に建設予定

佐藤

人口減少対策として道志村移住支援センターに業務委託をしているが、移住希望者の住む場所もなく、移住を断念し別の地域に移住しているのが現状です。平成30年度に住宅建設が予算化されましたが、未執行のまま今に至ります。このように大渡地区の土地



大渡地区住宅建設予定地

購入費と住宅建設費が予算化されているが、先送りになっているのは何故か。また建設が容易な村有地ではなく大渡にこだわる理由は

産業振興課長

大渡地区に決定した理由は、この地区が高齢化・過疎化の進行により、近い将来集落の維持が困難になることが想定されるため、移住した若者に地区の後継者の役割を担っていただきたいと考えたのです。農地の制限や相続手続きなどの理由により建設場所が決まらず、時間を要してしまいました。が、本年度は早期に建設できるように進めています。

大渡地区に決定した理由は、この地区が高齢化・過疎化の進行により、近い将来集落の維持が困難になることが想定されるため、移住した若者に地区の後継者の役割を担っていただきたいと考えたのです。農地の制限や相続手続きなどの理由により建設場所が決まらず、時間を要してしまいました。が、本年度は早期に建設できるように進めています。

Q 人口減少対策事業のひとつで遠隔医療を導入し充実した医療や福祉の村づくり、インターネット学習塾の設置による質の高い教育環境整備が大切です。

道志版サテライトオフィス構想では横浜や首都圏の企業を誘致し働く場所づくりと移住者・定住者が不安なく暮らせる村づくりの事業と違うが、成果が出ていない原因と現状の取り組みは

ふるさと振興課長

道志村サテライトオフィスでは、対象企業の要件を踏まえて利用を許可しております。村に滞在型のオフィスを開設することや、地元雇用の計画などを聞き取り判断し



下善之木地区開設予定のオフィス

ておりますので、どんな企業でも利用できる施設ではありません。

現在、オフィススペースでは東京に本社を持つ企業が利用しておりますが、村内で拠点となる事務所の開設準備を進めており、村でもサポートをしつつ、成果に向けて共に取り組んでいます。

(再質問あり)

Q 法律や条例に対する村長の認識は

A 法律や条例は遵守すべきもの



佐藤光栄議員

佐藤

村長においては2期8年という長い間、道志村の行政運営をしてきましたが、行政運営においては何事も法律や条例で規制されています。法律や条例に対する村長の認識は

村長

村長として行政の運営をしています。当然の事ですが、法律や条例については、遵守すべきものであると認識しています。

村長

Q 道志村神地地区にサテライトオフィスを開設してあるが、今後の活用は

道志村サテライトオフィスについては、今後



サテライトオフィス視察

村長

村では、平成21年に高速・大容量が可能な光通信網を村内で供用開始し、民間企業へ貸し出すことにより、多くの住民がインターネットを利用しています。村でも、この通信網を行政情報提供システムにより情報の伝達に活用しており、平成30年には、システム及び機器の更新も行っております。

Q 現在社会において、通信技術の急速な進歩には目を見張るものがあります。

も意欲ある企業の誘致に力を入れてまいります。

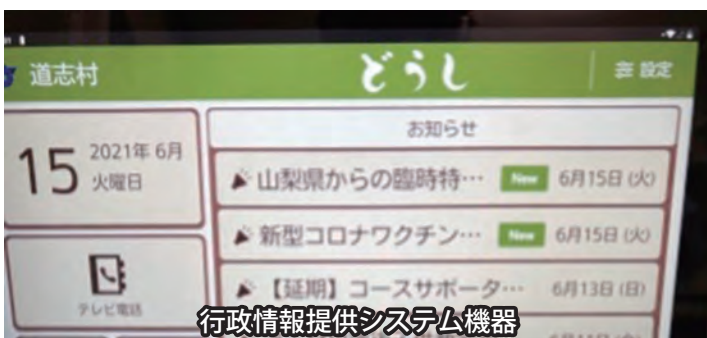
在宅勤務が可能な状況であり、本村においても光通信が10年以上も前に整備されていますが、この通信技術の活用は

Q 令和3年5月15日発行の村政報告で、県の補助金が10億円増とあるが、その10億円の内訳は

村長

村政報告において「県

の補助金」と記載したところにつきましては、県から支出された金額を村民の皆様に分かりやすく理解していただくため、そのような表現をいたしました。10億円の内訳については、災害対策、土木工事等の山梨県発注による事業費も含まれております。(再質問あり)



行政情報提供システム機器



池谷銀重 議員

Q 「防災トンネル現地説明会」の後 2～3年で事業化は A 流石県議の質問に対する知事の 答弁を引用

池谷

県道都留道志線概略ルートはどこか。道志村単独の依頼が都留市との合意は、事業化とは

村長

都留市側は、菅野あたりと考えております。道志側につきましては、都留市側の標高や地形、距離等を考慮しながら適した箇所を決定する。都留市との合意は、都留市でも説明会を実施する。事



防災トンネル概略ルート

業化とは、事業評価を受けた後、国の補助により詳細設計を行う時期のこと。

Q 村政報告では「現地説明会」の後に2～3年で県の事業化になる予定とあるが間違いはないか

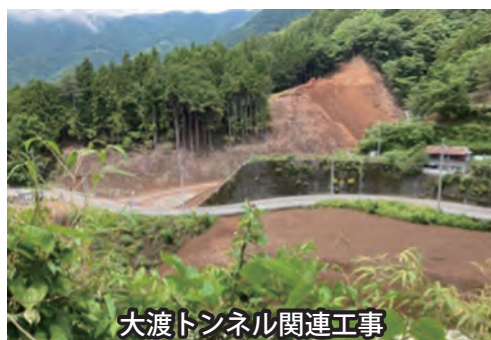
村長

県議会での流石県議の質問に対する知事の答弁を引用したものです。

Q 過去の一般質問の回答には、「大渡トンネルの完成後に都留道志線のトンネルは検討する」と県の回答があったが、ここに来て概略ルートの説明会の開催は選挙向けではないか

村長

何の批判があるか私には解らないが村長に就任して公約の一番として道坂峠のトンネルの実現に向けて努力してきました。



大渡トンネル関連工事

令和3年になり、県の道路事情の大きな構想の中に県道24号線が入り、新たなトンネルを含む県道都留道志線の概略ルートについて、山梨県による現地説明会を開催していただける状況となりました。

Q 役場庁舎設計業務委託の指名競争入札で、本村議員が親族による請負いで地方自治法92条の2に抵触の質問に「当該議員が実質的支配力や影響力を及ぼしている材料が見当たらない。」と回答があったが、従業員で給料もあり、議員になっても職員の打ち合わせ書類や写真等の証拠があり影響力はあるが指名した村長の考えは

村長

逐条地方自治法にある議員の親族による請負の内容についても抵触しないと解しています。また、当該議員が実質的支配力や影響力を及ぼしているとは考えておりません。

(再質問あり)

議会活動報告

● 総務文教常任委員会

令和3年4月7日、5月12日、5月26日

4月7日議会事務局室に於いて教育委員との座談会や議員災害対応訓練・議員勉強会について協議しました。5月12日災害対応訓練を実施し災害時に於ける議員の役割や行動について訓練しました。5月26日役場2階に於いて議員研修会を実施し、議会事務局長より地方創生について説明を受けました。これからの議員活動に役立てます。



災害対応訓練説明会

● 建設厚生常任委員会

令和3年4月22日、5月19日、6月8日



村長に提言書を提出

4月22日及び5月19日役場議会事務局室において建設厚生常任委員会を招集し、提言内容の検討を行い、議長、委員全員で情報の共有をはかり役場担当者より状況の説明を受け提言書をまとめました。6月8日出羽議長、大田建設常任委員長により村当局に提言書を提出しました。

提言内容

- 1、保育所出入り口の危険石積改修及び拡幅改修
- 2、林道脇の不法投棄ゴミの早期撤去

議会活動報告

● ペーパーレス推進委員会

令和3年4月21日、5月12日

4月21日議会ソフト、Sidebooksを導入し操作研修会を議員全員出席で開催いたしました。5月12日の研修ではタブレット、携帯電話を使い災害時対応の訓練を行いました。今後も研修を重ね議会のペーパーレス化、災害等にも対応できるよう勉強していきたいと考えています。



議会用ソフト研修風景

● 町村議会議員表彰・自治功労者表彰

令和3年5月31日

令和3年度町村議会議員研修会と自治功労者表彰が山梨県自治会館で、新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限を行い開催されました。

本議会からは5人出席し、町村議会議

員研修会では、東北大学大学院情報科学研究科、准教授河村和徳先生による「町村議会の抱える課題」と題し、オンラインでの講演があり地方議員の抱える課題がよくわかり、今後の議員活動の参考にします。

その後全国町村議会議長会表彰4名、山梨県町村議会議長会表彰では、1議会、14名の表彰があり、道志村議会からは、山梨県町村議会議長会長である出羽和平議長が全国町村議会議長会表彰の特別功労賞表彰を受けました。

今後の活躍に益々期待するところであります。



表彰を受ける出羽議長

3月定例会以降の
おもな活動

4/6 (火)	小学校入学式
4/6 (火)	中学校入学式
4/7 (水)	総務文教常任委員会
4/7 (水)	ペーパーレス推進委員会
4/9 (金)	南北都留郡正副議長 連絡協議会総会
4/21 (水)	ペーパーレス推進委員会
4/22 (木)	建設厚生常任委員会
4/23 (金)	令和3年第3回臨時会
4/28 (水)	広報常任委員長会議
5/12 (水)	総務文教常任委員会 (災害対応訓練)
5/13 (木)	山梨県町村議会議長会
5/19 (水)	建設厚生常任委員会
5/31 (月)	町村議会議長会 功労者表彰・研修会
6/1 (火)	広報常任委員会
6/1 (火)	議会運営委員会
6/8 (火) ~11 (金)	6月議会定例会

あの一般質問は今...

平成30年9月定例会

質問

オリンピック自転車ロードレースに対する村、県、村民の協力体制は

答弁

横断幕等を設置し機運醸成に努めている。県には国道の整備、景観整備等協力を要望、村民ボランティアの協力をお願いしております。

その結果今は



景観整備され機運も上々

道路、景観整備も整い、ボランティアの協力も頂き機運も盛り上がっています。

議会の考え

世界の人々に我が道志村を見てもらえる絶好の機会と考え期待しています。

活躍する

団体紹介

道志村消防団

團長 山口 義弘

村民が安心して暮らせる村づくり

令和3年4月に道志村消防団長の職を拝命いたしました山口義弘と申します。微力ではございますが、団長として使命達成のため、この大任を果たしたいと思っております。

昨年度はコロナ禍により消防団活動が自粛や中止となり、今まで経験のない事態となりました。しかし火災や自然災害などは待つてはくれません。我々消防団は「自分

たちの地域は自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき火災をはじめ台風などの災害発生時には、村民の生命、身体及び財産を守ることはもちろんのこと、平常時には予防消防に努め活動しています。

しかし、近年団員数の減少などで防災力の低下が懸念されている状況であります。最も重要なのは、やはり村民の皆様一人ひとりが「自分た



ちの地域は自分たちで守る」という意識を持っていたく事が重要です。

「村民が安心して暮らせる村づくり」は皆様のご協力なしでは達成できません。我々消防団も「郷土愛護の精神」のもと一丸となって邁進する所存でありますので今後とも皆様のお力添えをお願い申し上げます。



消防団の活動（土のう作り）

がんばる人紹介

溪流沿いにある隠れ家的キャンプサイト「久保キャンプ場」オーナー

7年くらい経った今、思えば忙しくて体を壊す寸前の働き方でした。なれないこともありますが、キャンプ場の経営、労働は半端ではありません。繁忙期には睡眠不足でかな

久保キャンプ場の管理人ザキ姐です。私は20代の頃富士スピードウェイでモータースポーツをやっていたので、道志みちは砂利道の頃からトラックにレーシングカーを積んで通った思い出の道です。知人が久保地区で何十年とやってきた久保キャンプ場を、何故か私がやることになりました。



久保キャンプ場
山崎優佳子さん
と4人の娘さん



溪流沿いのキャンプサイト



桜咲く久保キャンプ場

りきつかったです。久保キャンプ場を始めたばかりの頃、村のイベントで婚活キャンプが開催され、他のキャンプ場オーナーさんとも仲良くさせて頂いてくださりかけになりました。時にはキャンプ場経営のアドバイスを頂いたり、お客様のトラブルにも応じてくださるという、とても親切な環境のもと、今までやってこれました。先日7年目にして初めて村長さんと役場前でバッタリお会いし感激しました。どんどんきれいになる道志みち、久保の前を流れる道志川、そんなすてきな道志村の魅力をこれからもお客様にご案内していきます。

一人でやっている小さなキャンプ場ですが、たまには四人の娘が手伝ってくれます。今後とも宜しくお願いします。

編集後記

昨年5月に広報常任委員に任命され「議会だより」の編集作業も1年過ぎました。

道志村では65歳以上の新型コロナウイルスワクチン接種実績が85%以上を達成し、64歳以下の接種が始まりました。早期接種により集団免疫70%を達成させ1日も早くコロナが終息されることを望んでいます。(佐藤徹)

広報常任委員会

委員長 杉本 孝正
副委員長 山口 章
委員 佐藤 徹
委員 佐藤 喜章